

第 26 回 愛知県作業療法学会

趣意書

第 26 回愛知県作業療法学会

学会長 田中実希

このたび、第 26 回愛知県作業療法学会を平成 30 年 5 月 6 日（日）に愛知県産業労働センターにて開催をさせて頂く運びとなりました。

近年の医療・保健・福祉制度の変遷は激しく、リハビリテーションを取り巻く環境も大きく変化してきています。作業療法とは、「身体又は精神に障がいのある者、またはそれが予測される者に対し、その主体的な生活の獲得を図るために、諸機能の回復、維持及び開発を促す作業活動を用いて、治療、指導及び援助を行うこと」（日本作業療法士協会定義 1985 年）をいいます。現在、作業療法はその対象領域が身体・発達・老年・地域・精神と多岐に渡ってきています。また、それぞれでの関わりは、予防から社会復帰までと広い範囲の対応が必要になってきています。作業療法の根幹を踏まえながら、環境の変化に対応し、作業療法に対する社会からの期待に応えられるように作業療法自体にも革進が求められてきていると思います。

本学会では、テーマを「つなぐ ～機能を生活へ そして その先の暮らしへ～」とし、様々な施設での作業療法場面やそれに関連した独自の取り組み・システムなどを紹介する機会を設け、作業療法について改めて考え、発展を促す学会にしたいと考えております。

御社のご協力とご支援を賜りますよう何卒よろしく申し上げます。